



あずにゃんの
無人島漂流記

WORLD'S END GIRLFRIEND



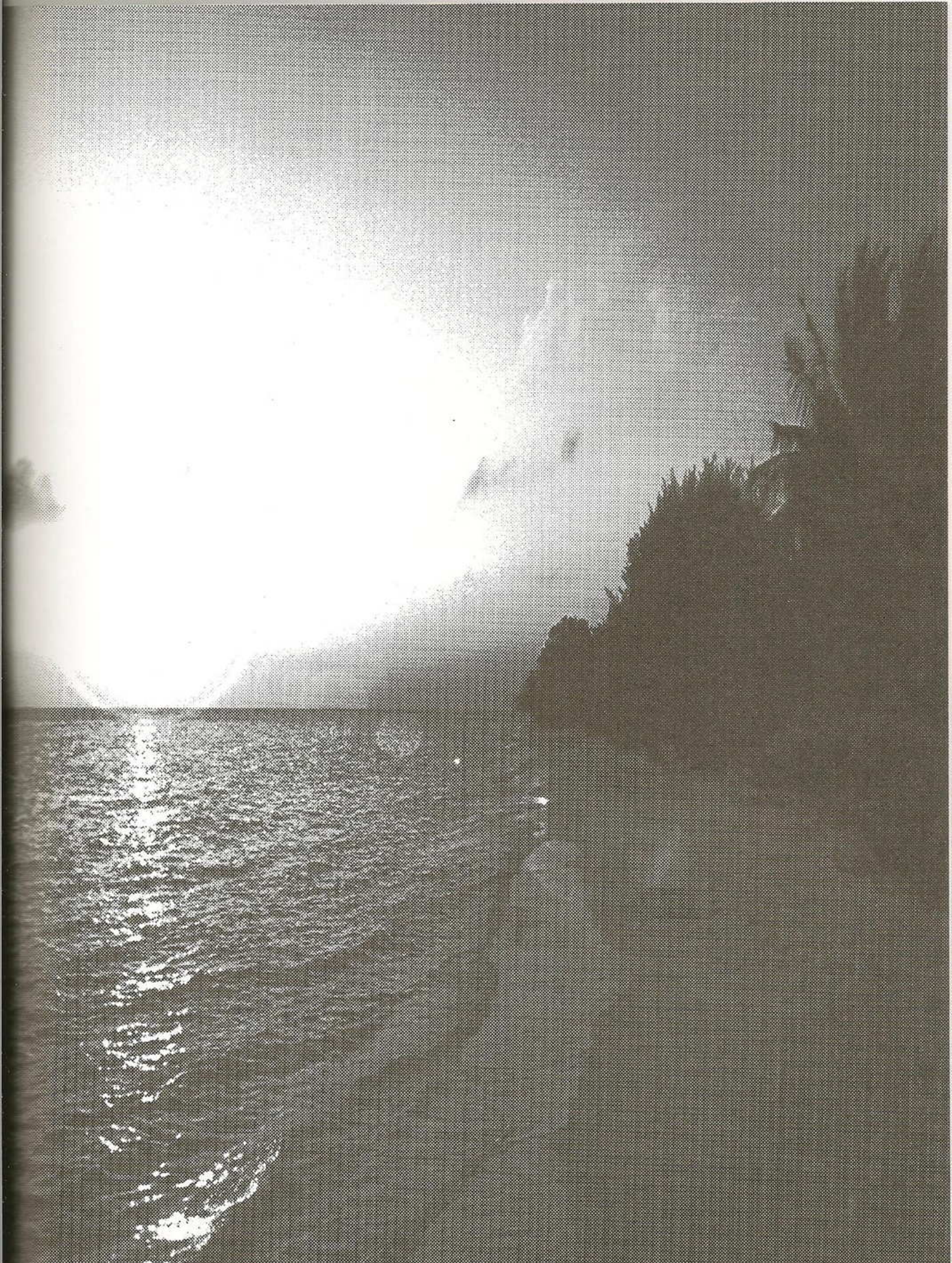
それにしても
まさか無人島漂流記とは
夢にも思いませんでした



あ、描いててやっぱり
ちよつと可哀相すぎたと
思ったみたいです



だから多分、
次のお話はすごい
私がハッピーなお話に
なると思うんですよ！
そう思いませんか？



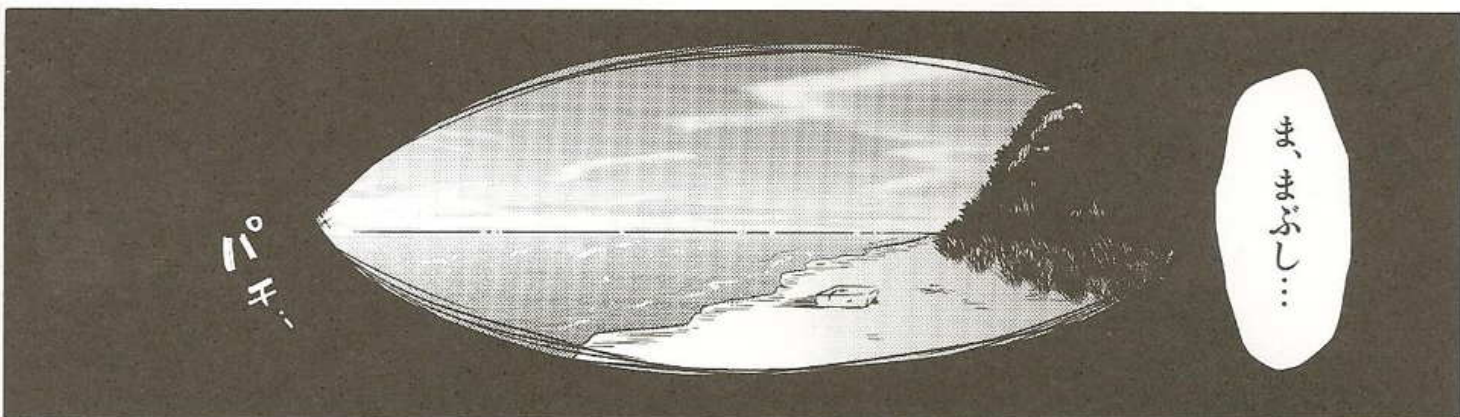
この物語はフィクションであり
実在する団体名、個人とは一切関係ありません。

ここは世界の海に
点在する
有数の無人島の
ひとつだ——



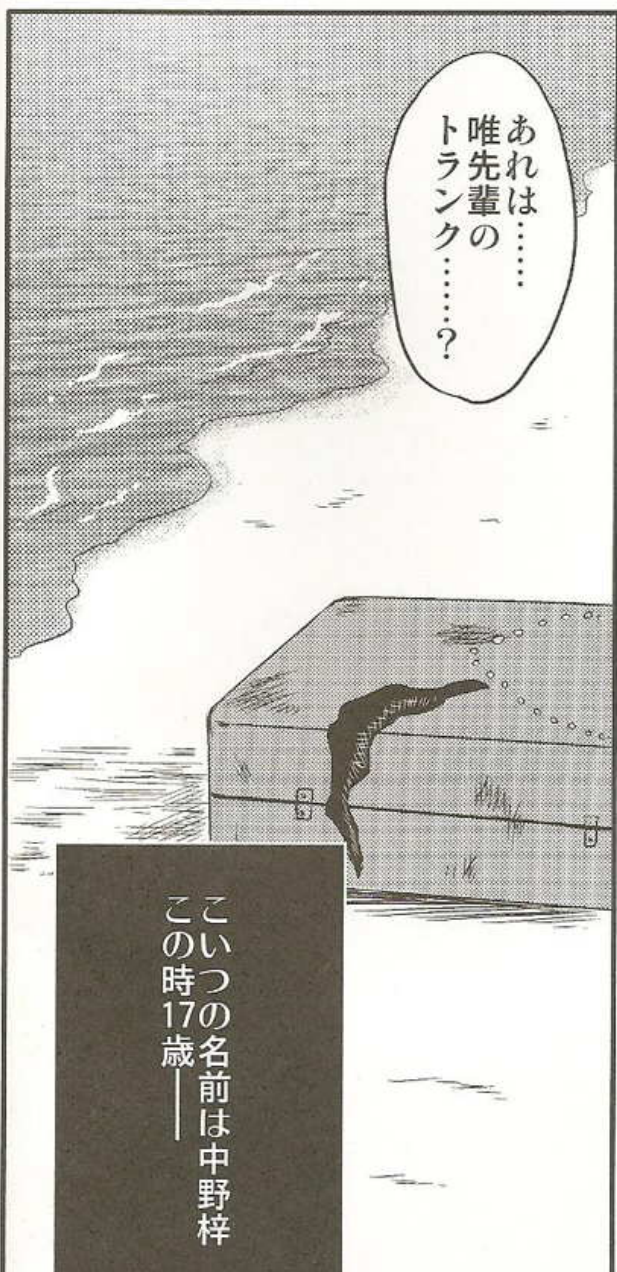


う…いた…



パキ…

ま、まぶし…



あれは…
唯先輩の
トランク…？

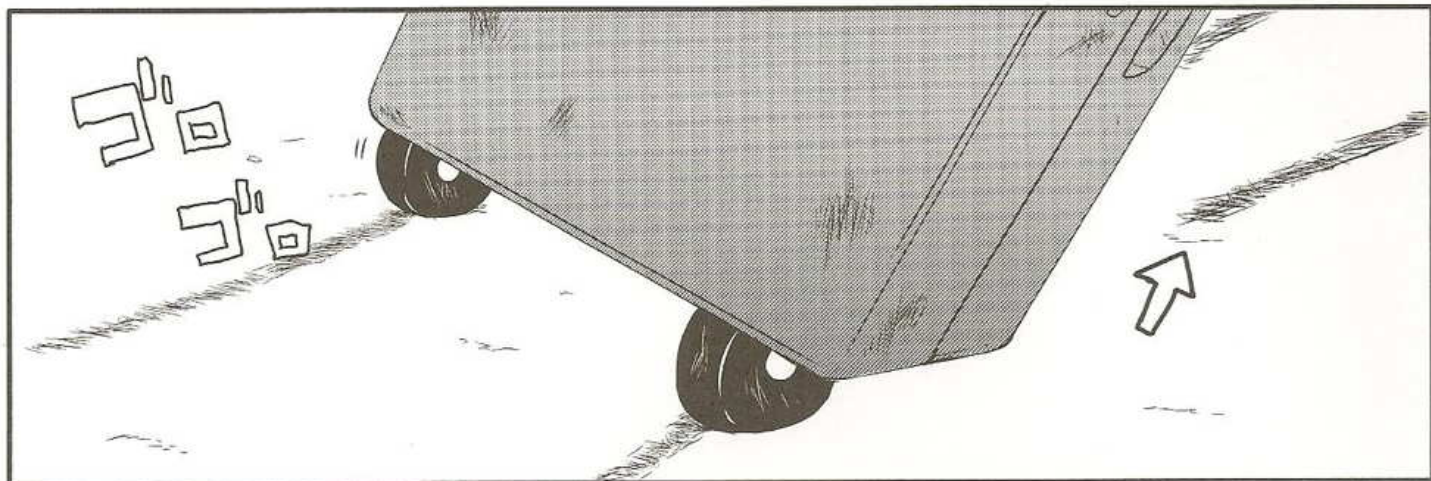
こいつの名前は中野梓
この時17歳—



か、体中が…
すごい痛い…

トフト…





あつという間に
元の場所に
戻ってきてしまった……

それは時間にして
15分程度だった



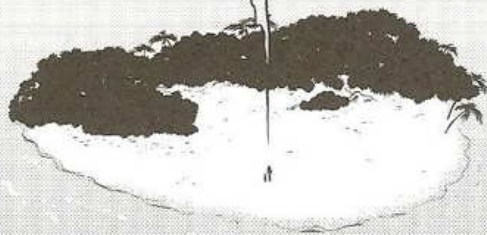
じわ……



こんな狭い島に
私一人と唯先輩の
トランクだけ？

一緒だった先輩たちは
どこだろう……
先輩たち……せんぼ……

サバパァータイ!!!



残念ながら
叫んでも
誰もこない——

あずにゃんの
無人島漂流記



——とりあえず
食べられそうな
木の実類はあった
ケド……

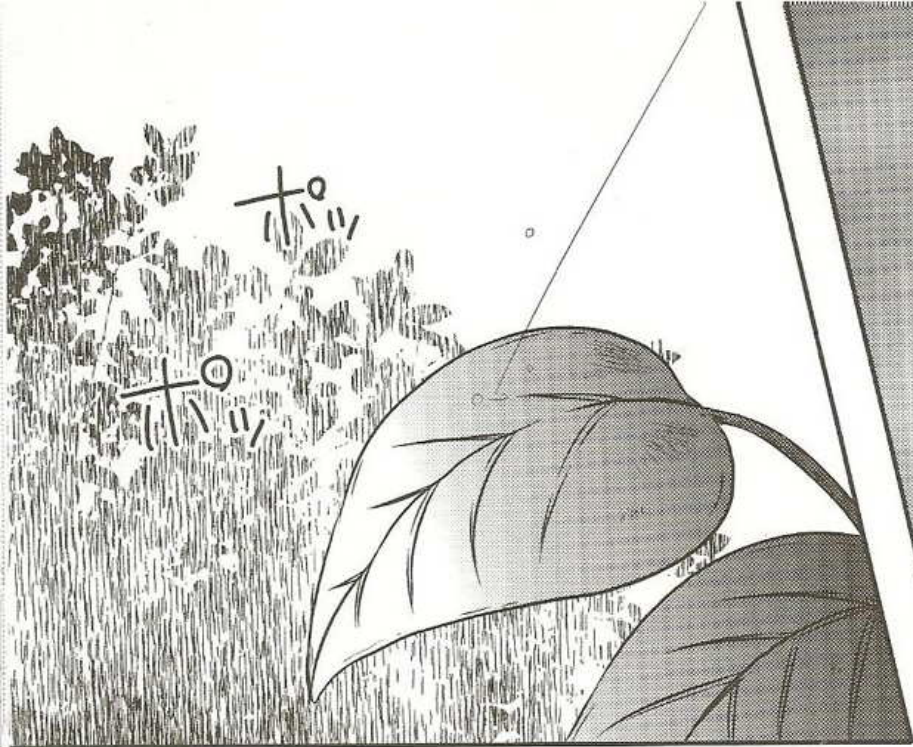
お前は何度も
ヤシの木に
登ろうと挑戦したが
ことごとく失敗した

へい、てきた



この水……
飲めるのかな？





ゴ...



あ、あんなところに
洞穴が

とりあえず
あそこに!



あ、雨だああ!!

わあ
あ



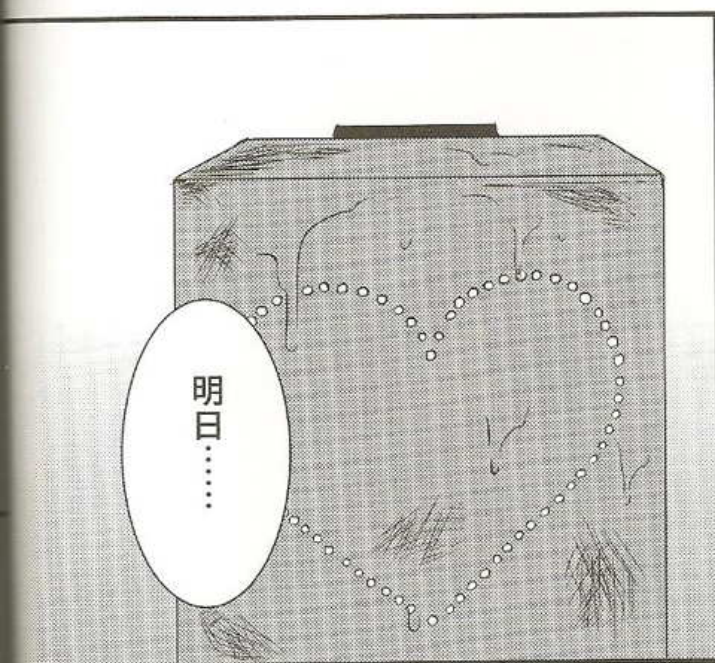
その洞穴は
狭く...浅く...
まるで
部室の倉庫を
彷彿させた



どうみても誰も
いなかった

ごめんくださーい

き



明日……



いるわけない、か

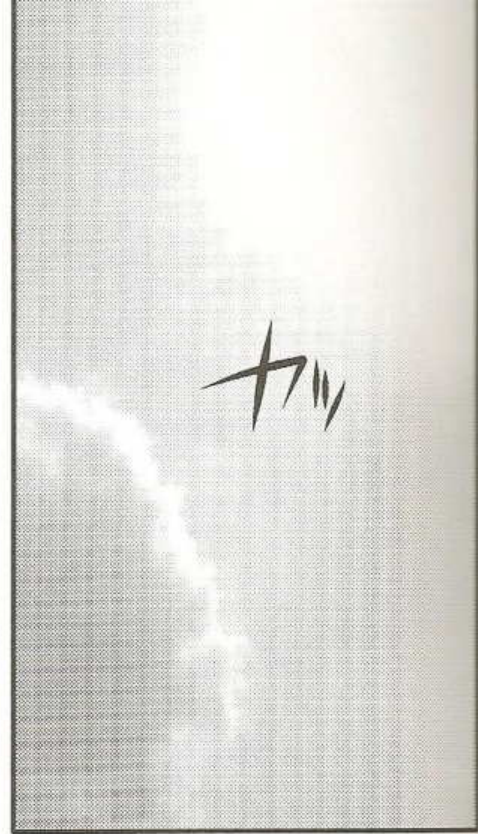


明日になれば、
きっと……

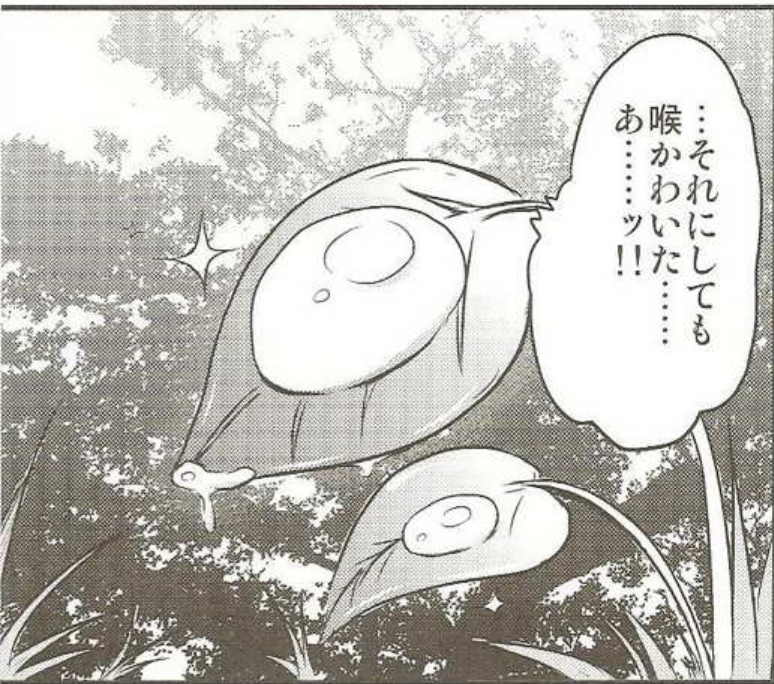
アアアア……
きっと
助けが……



まぶし……う、まぶし……



クク



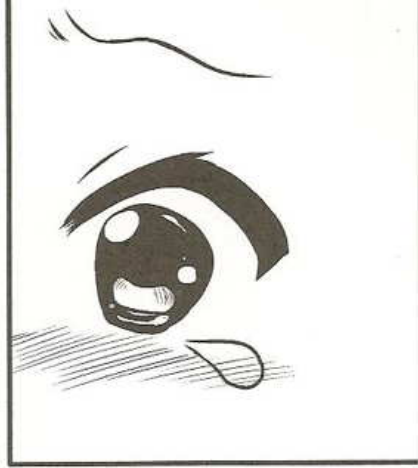
…それにしても
喉かわいた……
あ……ツッ!!



やっぱり夢じゃ
なかったんだ……
私、遭難しちゃったんだ……



み、水だっ!!



んまぬぬぬぬ



お前は
飲んだ分だけの
水分を流したの

んまぬぬぬぬ

泣いてちやダメだ...!
待ってれば
助けが来るはず!
——きつと!!

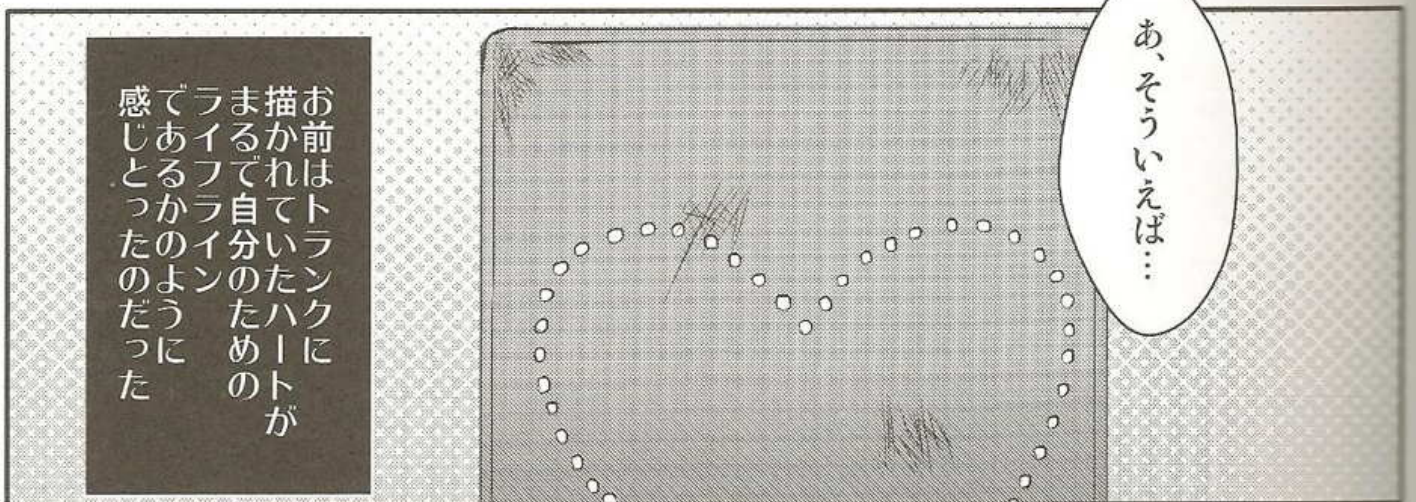
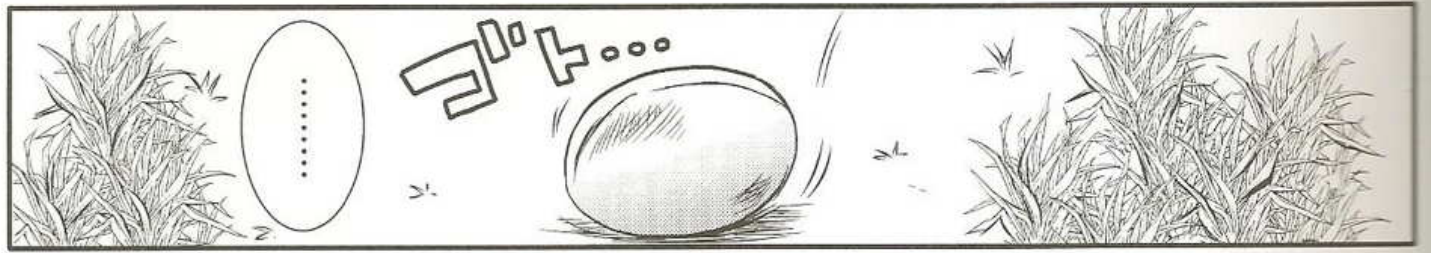


——この木の実...
食べられるのかな?
かなり硬そうだけど.....



——ええい!!





お前はトランクに
描かれていたハートが
まるで自分のための
ライフライン
であるかのよう
感じとったのだった



唯先輩ごめんなさい！
勝手に開けます！

カチャッ




すすこい……!!



…なにこれ？




私、ロンドンで
こんな大量の
お菓子の上に
乗ってたんだあ……



これが俺と
こいつの初めての
出会いだっただけ

ホソ...



もし無事に帰れたら
もうお菓子食べすぎとか
口うるさく言わないように
しますね

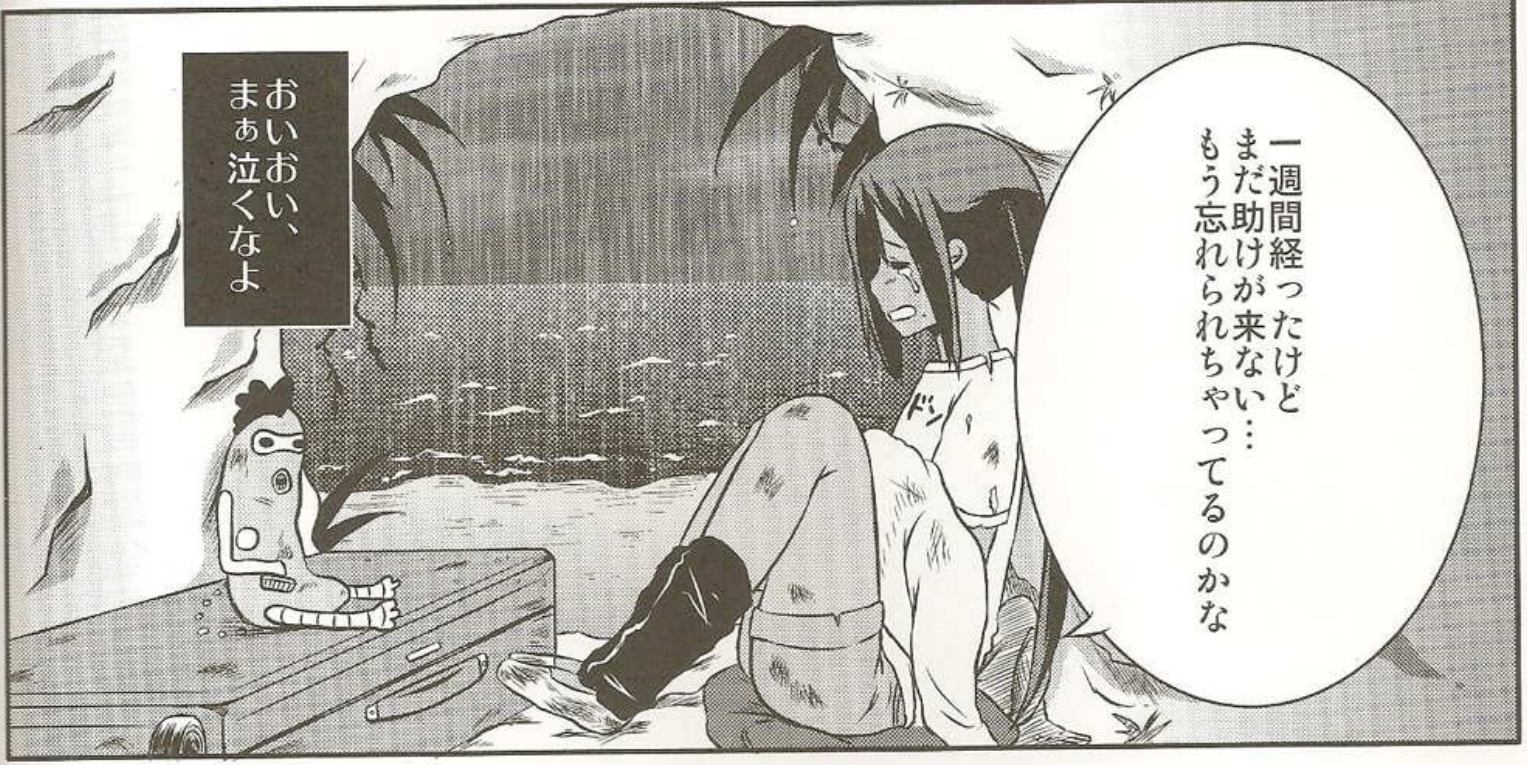
だからその日が来るまで
よろしくね
唯センパイ……

おう、こちらこそ
よろしく



だといいな

——今日は
来なかったけど
きつと明日は助けがくるはず…



おいおい、
まあ泣くなよ

一週間経ったけど
まだ助けが来ない…
もう忘れられちゃってるのかな



ユイギリスって
なんだよ
馬鹿にしてんのか

あ、唯センバイは
ユイギリスですね

半年経った…
乾季のうちに
アリとキリギリスみたいに
食糧を
集めておかないと…



そうだったな
っていうか
見えねえよ

ちようど一年くらい
経ちましたね
確か一年前も
こんな風な雨で
びしょびしょになりましたっけ



この瞬間、
お前の心が
安らいているのを
感じるぜ

雨季の後の季節は
海も穏やかで……
月が出てくるのに
星までくつきり見えてて
きれいですね……唯センパイ



そう……か……
それは良かったな
元氣そうで
何よりだ

聞いてください!!
なんだか不思議なんですケド
明日は助けが来る!
すごい、今までにない
そんなオーラをひしひしと
感じるんです!!

カシカシ

来ない

ロンドン

そしてお前は
壊れた——



もういやああああ!!



ああ嗚呼ああああ!!



かえりたいいよおおお!!



すぐお腹下…

ずる、ずる、

あ、あつ



!!?

バニイ

生臭いし

もう木の实なんて
食べたくないっツの!!



くた

ハッ!

唯センパイが!!



ゴキチヤ

ゴキ

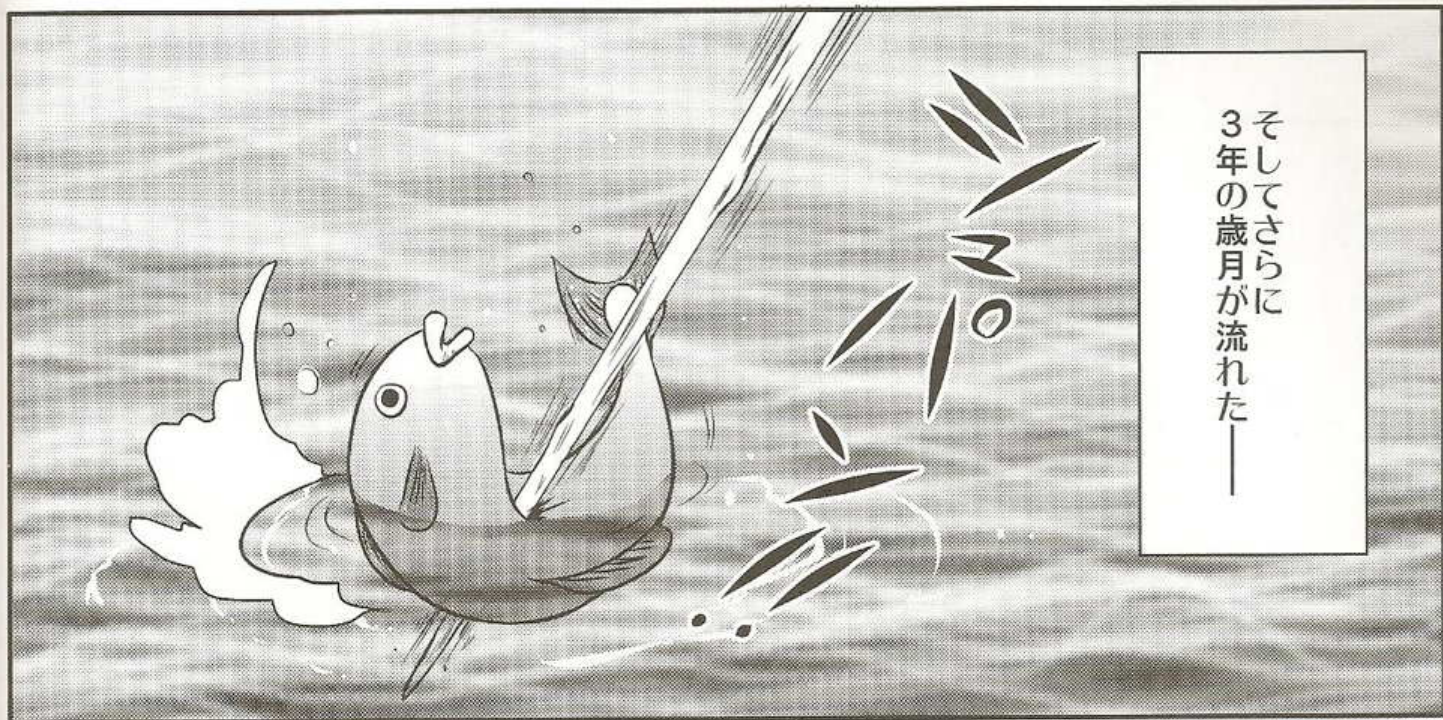
あうう、いったー



ごめんね、ごめんね……
唯センパイ……
う、うええ……えええ……

オレはこの時の屈辱を
一生忘れまいと
心に刻んだ——


ハッ



そしてさらに
3年の歳月が流れた――

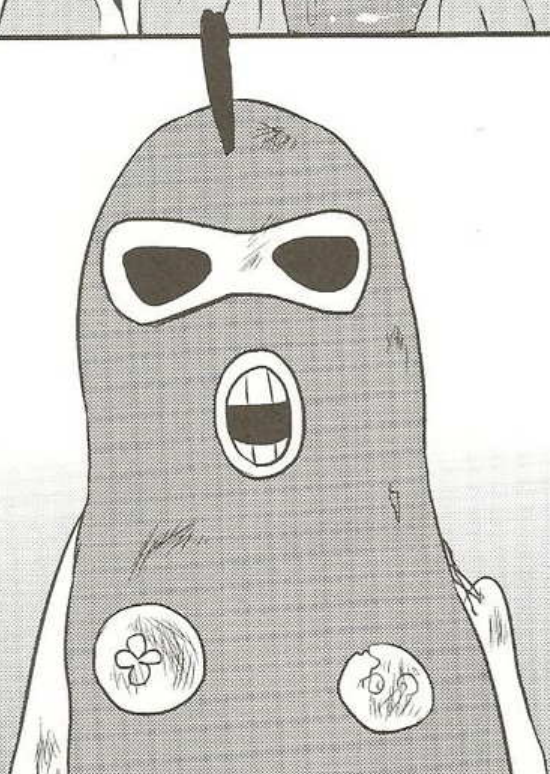
やった！





ごめんねー
私も生きていくのに
必死だからさ
それに君
すごく美味しそうだよ

唯センパイ、
見てください！
今日はご馳走ですよ！





—また雨季が訪れる……
火もおこせない
空も見れない
嫌な季節……



アアアアア……

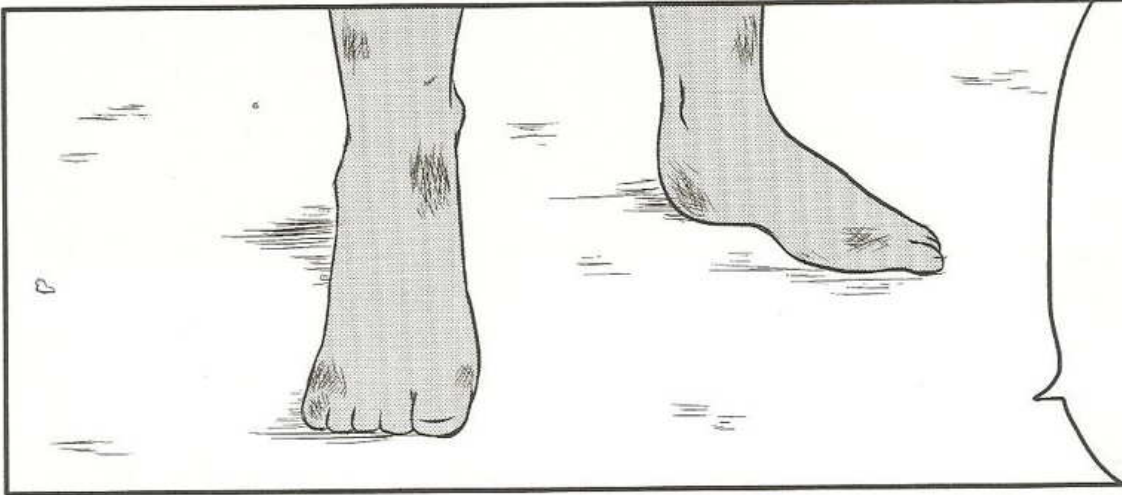
新しい季節が……



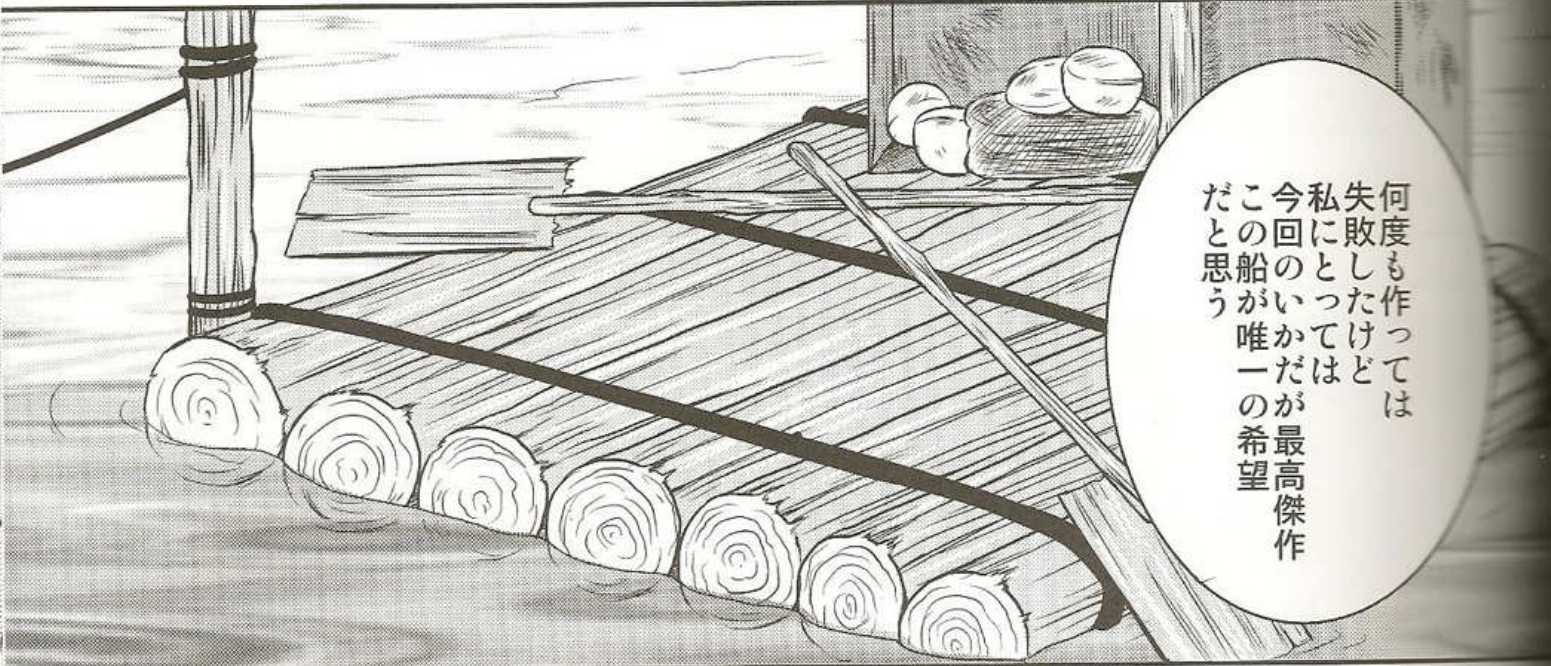
一カ月後……




でも、この雨が過ぎれば……
また穏やかな季節が
私を迎えてくれる……



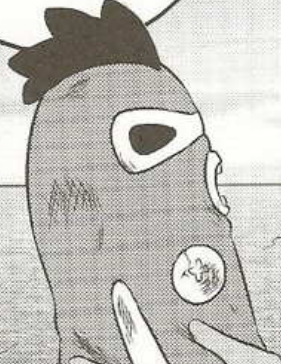
雨水も貯まったし
食糧も積みこんだ
もうやれるだけの
準備はやったつもり…



何度も作っては
失敗したけど
私にとっては
今回のいかだは
最高の傑作
だと思おう



無人島に流れ着いて
洞穴に刻んだ月日……
気づいたらもう5年も経つんだよ
多分、捜索活動もとつくに
縮小しちゃって諦められてると思う



でもだからって
こんな広い海原に
私一人で船出するなんて
不安で怖くて
とても耐えられないんだよ

ザアーン...

だからね、勇気を——
たとえばもう戻れない
決断だったとしても
後悔しない勇気を下さい
唯センパイ……

そうか……
俺はこんなにも
お前の支えになっ
ていたのか……



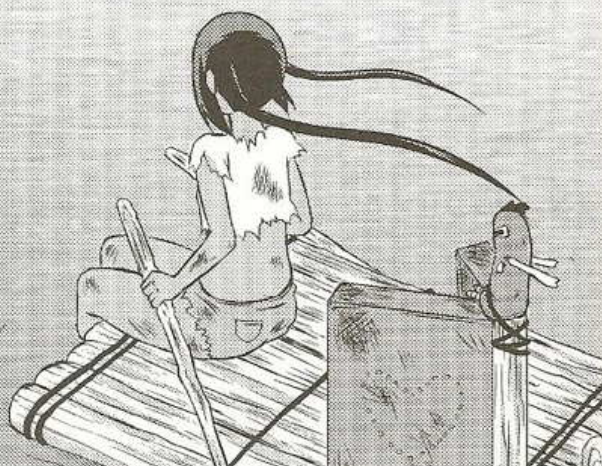
3年前、お前は
俺を岩に叩きつけた
しかし今
それを許そう——

や、やっぱり見てる
のと実際の海の上は
全然違うん……だね

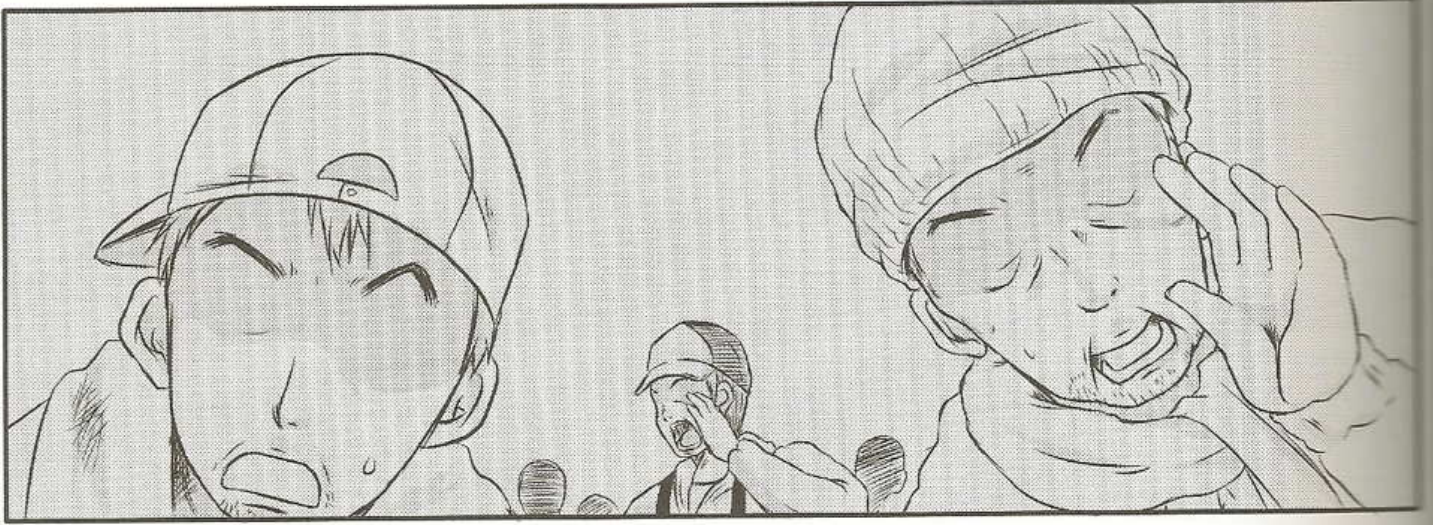


よし、任せておけ
俺が必ずこの広い海原の中で
希望を見つけて出してやる
俺とお前の仲直りの証に、だ
関の声をあげろ！笑え！！
ヨーソロー！！

もう島が
見えなく
なっちゃったよ……



おい、
大丈夫か？



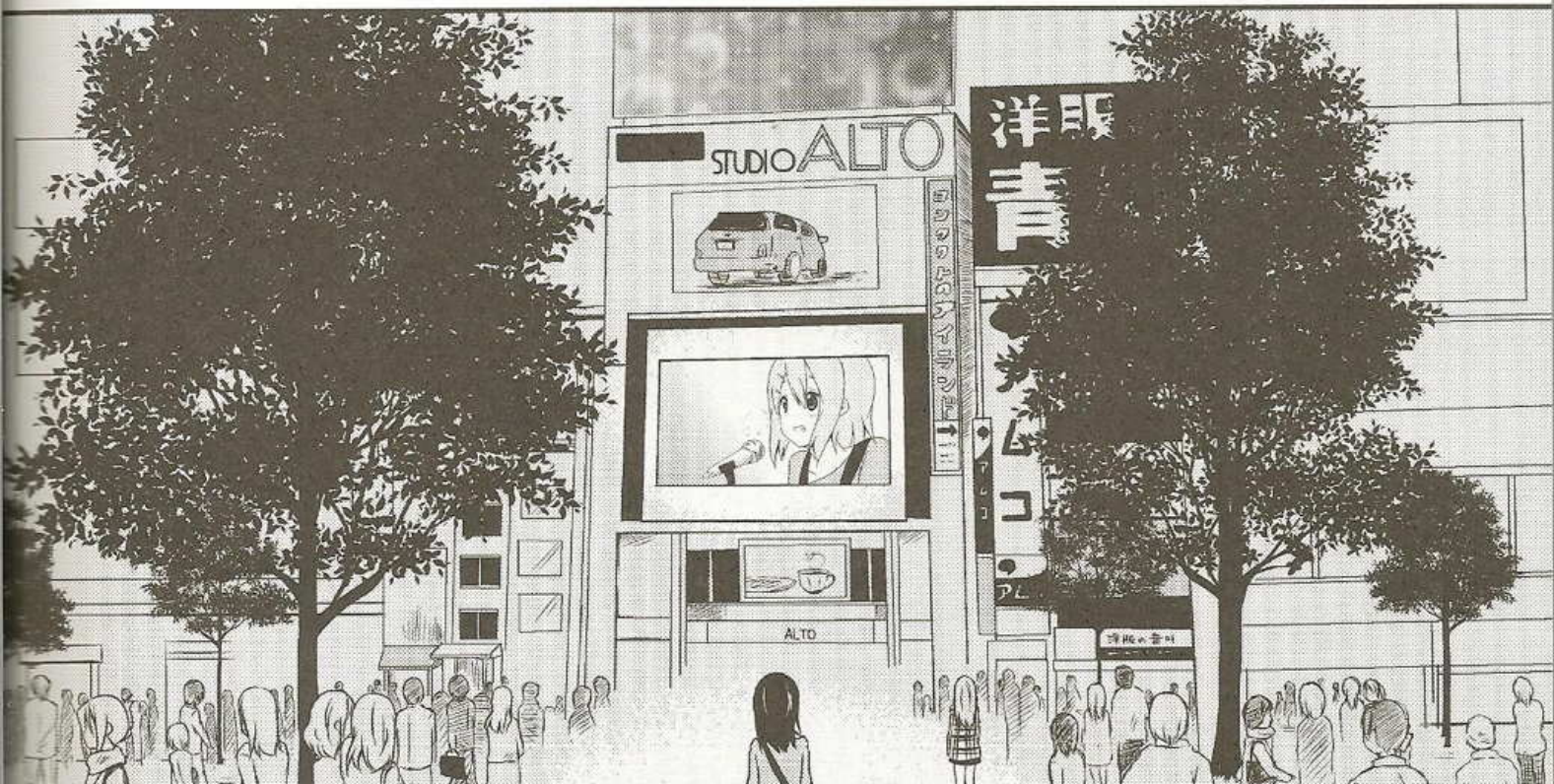
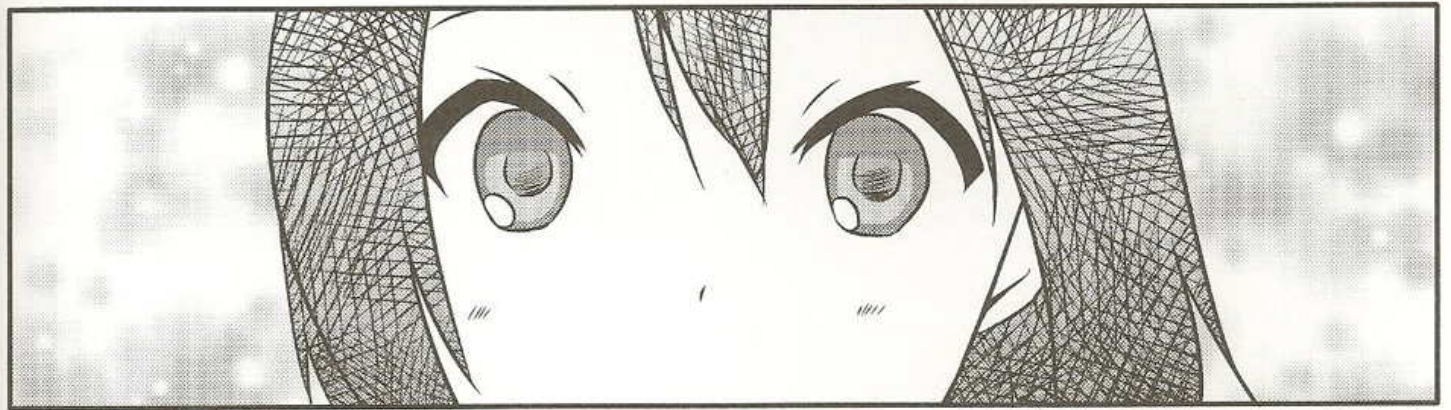
おい！
女性が！
いかだで
漂流してたぞ
船医を呼べ！
早く！

本日未明、
5年前の事故で行方不明とされていた
当時17歳の中野梓さんが
某国の大型漁船に救助されました
奇跡的に命に別状はなく――

だから一番を探しに会いにいこうよ
出会って大好きになって信じて
抱きしめて手離して



また出会うて♪
幸せつてその繰り返し♪
仲間の一番の代わり
なんてなくて♪





憂、純、久しぶりだね
何か取材とか多くって…



ちよつと梓、本当に梓よね?!
今までどこにいたのよー!!

本当に
心配したんだ
からね!

↓ 木んぽくになったじゅん



梓ちゃんだけが
見つからないって
聞いたとき
もう私どうしたらいいか
わからなくて…

っていうか、髪の毛まで
そんなにバツサリ
切っちゃって…よっぽど
過酷だったんだね…!

Join

あ……
髪の毛はね
すっごく痛んでたから
どうしても切らないと
ダメだったんだよ



すごく
心配してくれてたんだ……
本当にありがとう……

しじゆん



しゆ……就活
するの!?

だから髪を……?



それに私ももう23才!
就職活動しなきゃだし!



どっか
事務でも……



うん、みんなに
置いてかれてるの
実感してて寂しいし

どうしたの？
梓ちゃん

へ？
いいやいやいや
何でもないよ！

あんなに……
あんなに食べるのに
必死だったのに、な

轟
轟……
おいひいよお……

あ、そういえば
お姉ちゃんたち
「放課後ティータイム」で
デビューしたんだよ！

あー、
さつき駅前
の大きいモニターで
CMが流れてたよ!

カラン

すごいよねえ
本当に夢を叶えて
ずーっと
「放課後ティータイム」
なんかもんっ

私も一緒に
夢を追いか
けたかったな

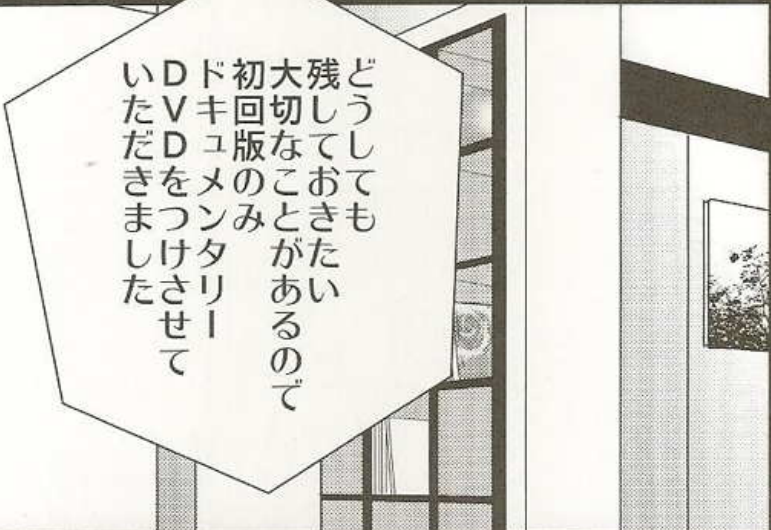
んー
でもね、おねーちゃん達
デビューはしたけど
夢は叶ってないって
口癖みたいになってるんだよ

え?
武道館とか?
まだなの?


それよりさ、梓
私の知り合いが
いい仕事を紹介してくるって
いうんだけどさ
ちよっとこの求人
見てみなよ




この度は私たち
「放課後ティータイム」の
CDを聴いて下さって
ありがとうございます



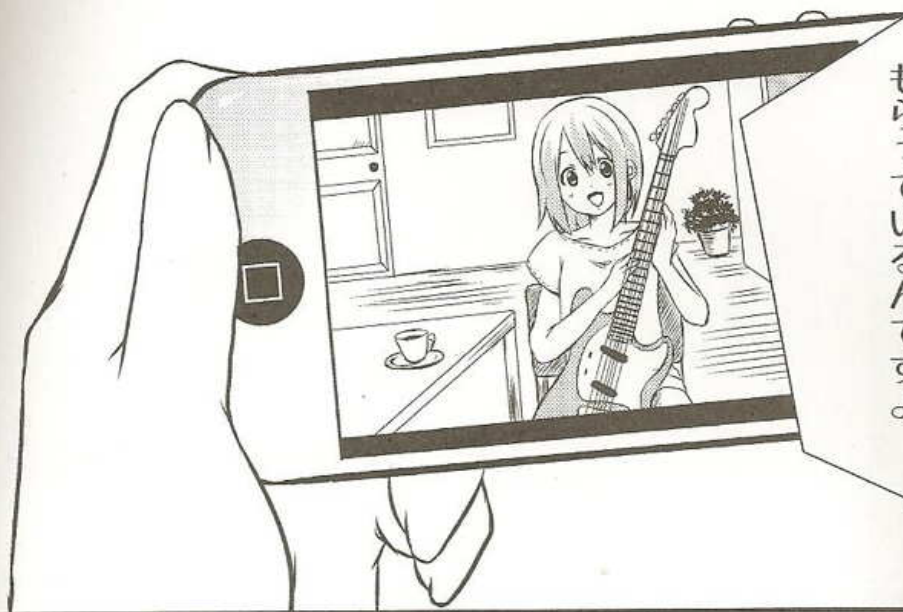
どうしても
残しておきたい
大切なことがあるので
初版のみ
ドキュメンタリー
DVDをつけさせて
いただきました



でも本当はその
仲間はずれ一人
いるはずなんです
今はちよつと参加
できずにいるんですよー



私たちは高校時代から
運良く、一番の仲間と
一緒に音楽を奏でて
くることができました

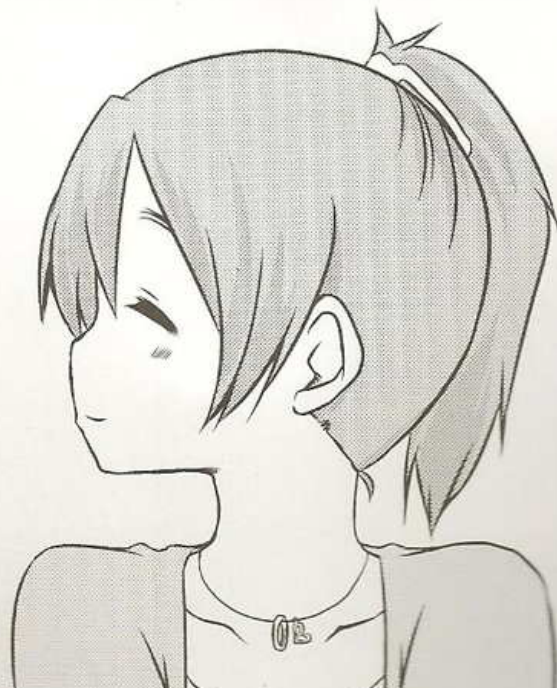


だから私たちは
そのメンバ―の
ことを
いつまでも待
ってるし
私がそのコ
ムスタング
を使わす
もらってる
よ



せ……ん……はい……
みなさん……

ギ―太の出番が
少ないけど
今はこのむ
そのこの代
わりだから



中野梓、この時すでに23歳——
無人島で過ごした歳月による
置いてけぼり感から
就職活動を始める予定だった。

しかし高校時代のバンドのメンバー四人らに誘われ
(半ば無理矢理)メンバー復帰させられる。

今ではブランクを取り戻すように活躍し
バンドがずっと断り続けていた武道館公演も成功させる。

彼女が過ぎていた無人島は

イギリス領、南太平洋に浮かぶ孤島のひとつだと推測されたが
大きさはわずか2エーカーだとの推測から確定には至っていない。

しかし20世紀中頃にとある青年が

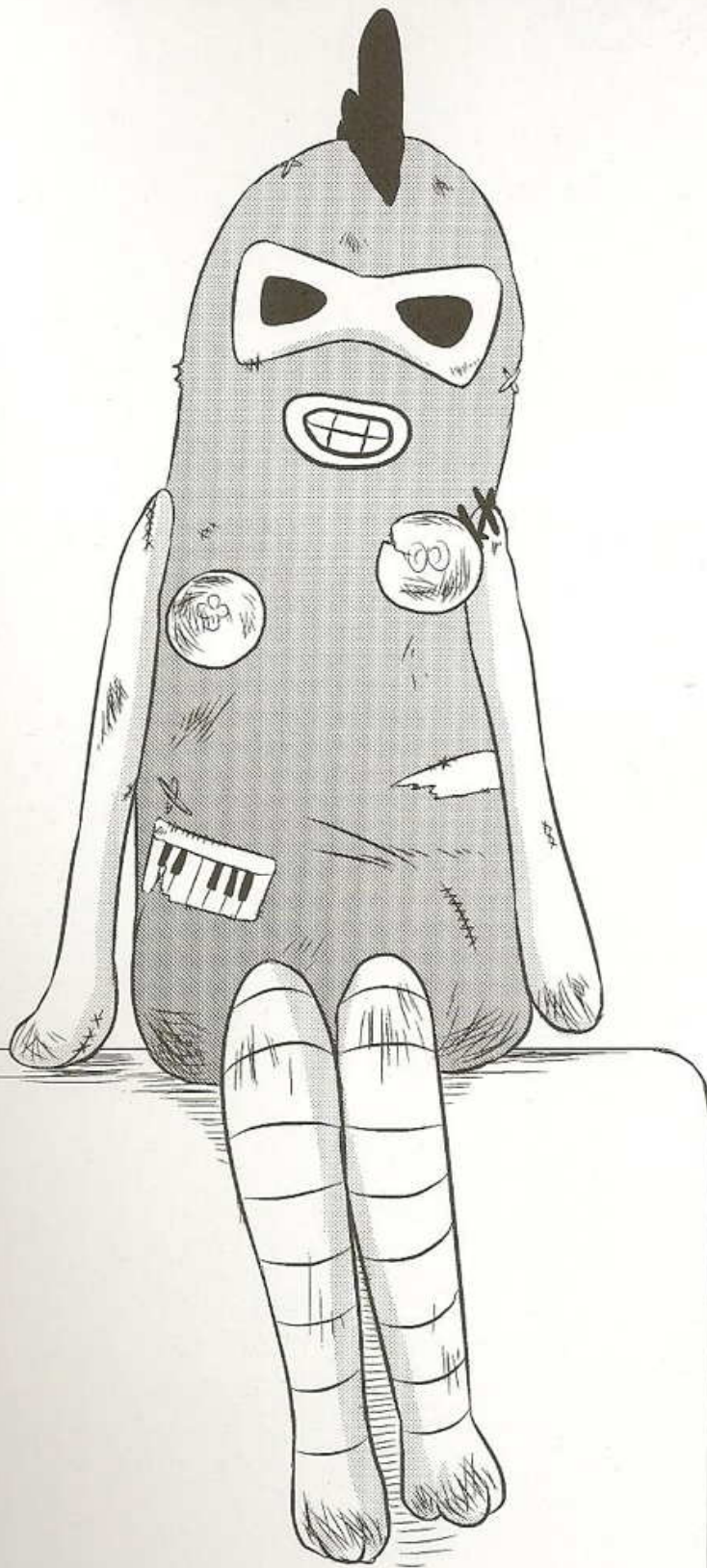
ペットのチンパンジーと一緒に漂着生活をしていたことから
人が生きていける環境であるとの評論家の意見も多々見受けられた。

しかしそれらは全て机上の空論である。

朝と夜を何度も繰り返す

何を考え、何を望み、何度死のうと思ったか
それを語るのには中野梓本人しかない。

もしくは——



幸せになっ！

こんにちは、らくほえりかです。

けいおんの映画の予告だけで
本が1冊できあがいました(笑)

ここまで読んで下さって

どうもありがとうございました!

らくほえりか 

発行 らくほ

発行日 2011.09.25

ホームページ <http://ragho.net/>

メール ragho@hotmail.co.jp

印刷所



SUN GROUP

<http://www.sungroup.co.jp/>





それにしても
まさか無人島漂流記とは
夢にも思いませんでした



あ、描いててやつぱり
ちよつと可哀相すぎたと
思ったみたいです



だから多分、
次のお話はすつこい、
私がハッピーなお話に
なると思うんですよ！
そう思いませんか？